

仕 様 書

光散乱式液中粒子検出器

KS-28BF

No. 96043-9

リオン株式会社

仕 様 書

仕第 96043-9 号
1996 年(平成 8 年)11 月 25 日制定
2020 年(令和 2 年)9 月 18 日改訂
リオン株式会社

1. 製品名 光散乱式液中粒子検出器
2. 型 式 KS-28BF
3. 概 要 KS-28BF は液体中に浮遊する微粒子の個数濃度を光散乱方式により測定する粒子検出器である。
液中粒子計数器 KE-28B に接続することにより、0.2 μm 以上および 0.5 μm 以上の粒径の粒子数を測定する粒子個数濃度測定装置として使用する。試料液体流量は 10 mL/min である。接液部にサファイア、PTFE、PFA を使用しているため、フッ化水素酸溶液の直接測定が可能である。

本器の流体系には試料液体の流量を調整する機構は含まれていないため、フローコントローラや外部ポンプ等を使用して試料液体の流量を調整する必要がある。

【フッ化水素酸溶液の測定について】

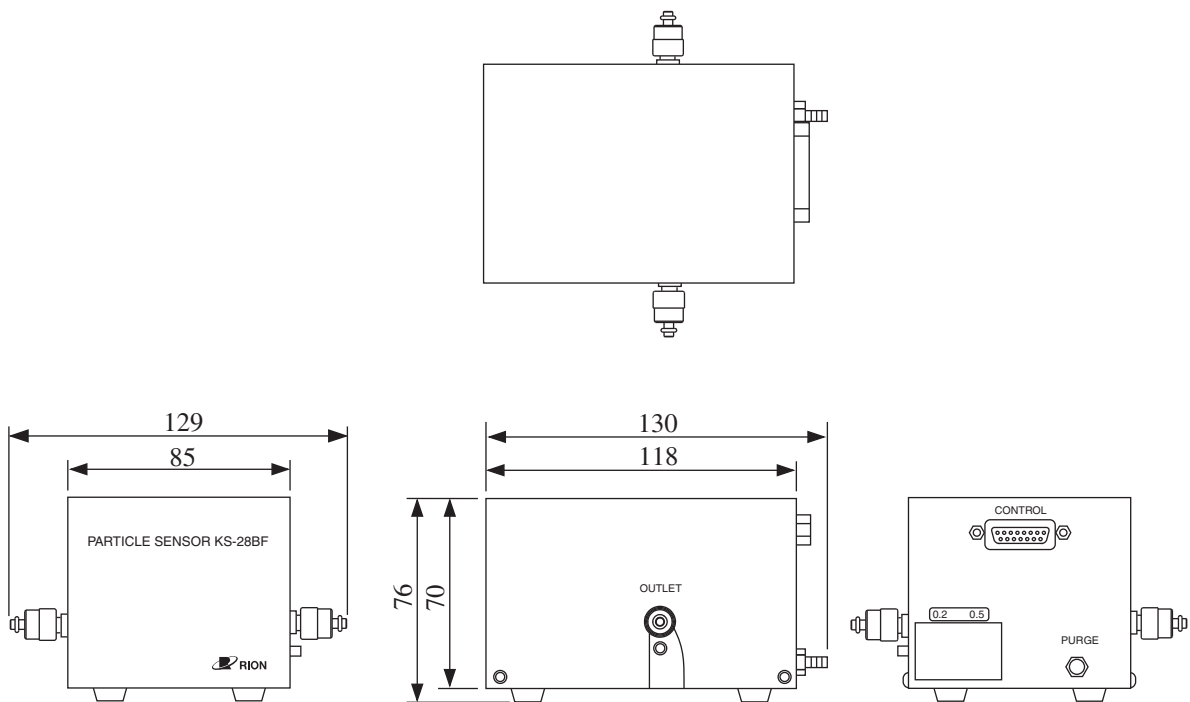
本器はフッ化水素酸溶液の直接測定が可能であるが、長期間フッ化水素酸溶液を導入したままにすると、わずかずつ腐蝕する可能性があり、接液部の交換が必要になる場合がある。本器を長期間使用するために、測定後は速やかに液体の組合せに注意して流体系内部を腐蝕や汚染を起こさない液体(純水、アルコールなど)に置換、洗浄する必要がある。

※ 本書中の会社名、商品名は、一般的に各社の登録商標または商標である。

4. 仕 様

接続対象機種	液中粒子計数器 KE-28B
光学方式	側方散乱方式
光源	半導体レーザー(波長：780 nm、定格出力：40 mW)
レーザー製品のクラス	クラス 1、IEC 60825-1:2014 による ただし、内部の粒子検出機構にクラス 3B に相当するレーザーを使用
受光素子	PIN タイプフォトダイオード
接液部材質	PTFE、PFA、サファイア
導入可能な液体	接液部を腐食しない液体
校正	純水中のポリスチレンラテックス(PSL)粒子(屈折率 1.6)による
可測粒径範囲	0.2 μm ～2 μm (純水中の PSL 粒子(屈折率 1.6)の場合)
粒径区分	2 段階(0.2 μm 以上、0.5 μm 以上)
定格流量	10 mL/min
最大粒子個数濃度	1,200 個/mL (0.2 μm 粒子において計数損失 5% 時)

試料温度範囲	15℃～35℃（フローセル部に結露を生じないこと）
試料圧力範囲	300 kPa 以下（ゲージ圧）
予熱時間	10 分
流体接続口	試料導入口／排出口φ2 mm × φ4 mm フレア加工チューブ用継手
パージ口	内径 4 mm チューブ接続
入出力端子	
CONTROL 端子	液中粒子計数器 KE-28B を接続
電源	液中粒子計数器 KE-28B より供給
使用温湿度範囲	15℃～35℃、80% RH 以下
保存温湿度範囲	-10℃～50℃、85% RH 以下 （結露のないこと、流路内部の凍結のないこと）
寸法・質量	76 mm（高さ）× 129 mm（幅）× 130 mm（奥行）（最大寸法） 70 mm（高さ）× 85 mm（幅）× 118 mm（奥行）（継手などの突起物を除く） 約 750 g
付属品	チューブ A 真空パック 1 （φ2 mm × φ4 mm PFA チューブ片側フレア加工 1.5 m 2 本、 ユニオン継手 1 個） センサーケーブル B 1 取扱説明書 1 液中微粒子計使用上の注意 1 内容品明細表兼リオン製品保証書 1



単位：mm

外形寸法図

本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。